

科目名 Course Name	キャリア教育 I Career Education I				ナンバリング No.	Z1-001	
年次	1 年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	キャリア教育委員長、全専任教員、特にクラス担任						
連絡先(質問等)	C-Learning で対応。または授業中に指示します。						
必修/選択	必修						
関連 DP	DP1, DP2						
授業の概要と到達目標	キャリア(職業と自分自身の関係、職業人生)について考え、学ぶことを通して、職業適性理解力、コミュニケーション力、職業生活理解力、進路実現のためのスキルの基本を身につける。 ①より良い進路実現へ向けて自分の課題を見つけることができるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割等を理解し、働くイメージを言語化できるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があるのかを考え、言語化できるようにする。 ④社会人に必要な基礎能力として、相手の伝えたいことを察し、相手を気遣いながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤経済的・精神的自立の重要性を理解し、学生時代の課題を見出すことができるようにする。						
授業の方法	基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気づいたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。						
学習成果	L01	自分の職業生活をイメージし、準備段階に必要な課題を見出すことができる。職務遂行の必要条件として、他者より良くコミュニケーションできる。					
	L02	社会人・職業人としてふさわしい価値観や態度を他者に示せる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	課題はクラス毎に返却する。返却時期はクラス担任から説明する。						
教科書/参考図書	『大学生のためのキャリアガイドブック』(北大路書房)。必ず購入すること。						
履修上の留意点やルール等	積極的に参加し、自己を振り返り、自分の進路に対する方針を定めること。私語をしないで、マナーを守り、課題やレポートを必ず提出すること。欠席した場合は担任を訪ね講義資料を受け取ること。課題提出のメ切は全体指導あるいはクラス指導の場で示す。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。課題回収のメ切は原則次の週の水曜の 18 時までとする。						
担当教員の業務経歴							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられることが期待される。	20	10		
レポート/作品	5点満点の課題3つ(【課題】3~5)と10点満点の課題4つを提出すること。満点=各設問に対し適切に答えている、自由記述の場合は適切な内容を解答欄に8割以上記入している。未記入や誤答は減点。0点=未提出や白紙、メ切を過ぎたら減点する。	20	35		
発表					
小テスト	漢字テスト(15点満点) ※入学前春休みの宿題から出題する。	15			
試験					
その他					
合 計		55	45		

回数		授業計画
1 4/11	授業内容	オリエンテーション、学生生活と受講の心構え（秋山：40分）。（クラス別指導 50分）
	事前・事後学習	キャリア教育全体の要点を整理し、大学生になったの抱負を書く。
2 4/18	授業内容	感染対策から学ぶ（久保：50分）。（クラス別指導 40分）
	事前・事後学習	感染対策（予防）の基本をもとに自分にできることをまとめて書く。
3 4/25	授業内容	学力試験（各フィールド90分）
	事前・事後学習	春休みの宿題をはじめ、高校までの学びの復習をしておく。できなかった部分は、事後学習で補完すること。
4 5/9	授業内容	コミュニケーション能力を伸ばす（吉田：60分）。【課題1】（クラス別指導 30分）
	事前・事後学習	【課題1】コミュニケーションに関する課題を行う。
5 5/16	授業内容	ノートの取り方・レポートの書き方（久保田：60分）。（クラス別指導 30分）
	事前・事後学習	この回で漢字テストを行うので、予習・復習をする。
6 5/23	授業内容	ボランティアから学ぶ（佐藤：60分）。（クラス別指導 30分）
	事前・事後学習	ボランティア活動に関して考える。
7 5/30	授業内容	学ぶことと働くこと・社会が求める能力「社会人基礎力」・職業に関する理解と情報の収集（秋山：60分）。（クラス別指導 30分）
	事前・事後学習	「社会人基礎力」がどのくらいあるか考え、職業に関する情報を収集する。
8 6/6	授業内容	キャリアを伸ばす（秋山：60分）。【課題2】（クラス別指導 30分）
	事前・事後学習	【課題2】教科書 71 から 78 頁の[1]から[21]を記入する。提出締め切りは別途示す。
9 6/13	授業内容	様々な組織の理解（1）（各フィールド教員によるオムニバス）。（クラス別指導 30分）【課題3】配布。
	事前・事後学習	【課題3】組織に関する講話を聞いて、感想文を書く。
10 6/20	授業内容	様々な組織の理解（2）（各フィールド教員によるオムニバス）。（クラス別指導 30分）
	事前・事後学習	組織に関する講話の要点を整理し、【課題4】を行う。
11 6/27	授業内容	様々な組織の理解（3）（各フィールド教員によるオムニバス）。（クラス別指導 30分）
	事前・事後学習	組織に関する講話の要点を整理し、【課題5】を行う。
12 7/4	授業内容	小論文・作文対策（田村マ：60分）。【課題6】（クラス別指導 30分）
	事前・事後学習	【課題6】小論文・作文対策に関する課題を行う。
13 7/11	授業内容	経済的自立と金銭の管理（外部講師：60分・田村マ・秋山）（クラス別指導 30分） 【課題7】
	事前・事後学習	【課題7】経済的自立と金銭の管理に関する講話の感想文を書く。
14 7/18	授業内容	労働者の生活を守る法律や制度（外部講師：90分・吉田）。（クラス別指導なし）
	事前・事後学習	労働者に関する法律や制度についての講話の要点を整理する。
15 7/25	授業内容	キャリア・デザインの見直し（小林学務担当）。夢と自己実現。夏休みの宿題（キャリア教育Ⅱの【課題1】）の説明（秋山）。（クラス別指導 40分）
	事前・事後学習	キャリア教育Ⅱの【課題1】教科書 79 から 82 頁のキャリア・マニフェスト宣言と [22]から[30]を記入する。キャリア教育Ⅱの初回でクラス担任へ提出する。

科目名 Course Name	キャリア教育 I (医療事務) Career Education I				ナンバリング No.	Z1-001	
年次	1年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	キャリア教育委員長、全専任教員、特にクラス担任						
連絡先(質問等)	C-Learning で対応。または授業中に指示します。						
必修/選択	必修						
関連 DP	DP1, DP2						
授業の概要と到達目標	キャリア(職業と自分自身の関係、職業人生)について考え、学ぶことを通して、職業適性理解力、コミュニケーション力、職業生活理解力、進路実現のためのスキルの基本を身につける。 ①より良い進路実現へ向けて自分の課題を見つけることができるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割等を理解し、働くイメージを言語化できるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があるのかを考え、言語化できるようにする。 ④社会人に必要な基礎能力として、相手の伝えたいことを察し、相手を気遣いながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤経済的・精神的自立の重要性を理解し、学生時代の課題を見出すことができるようにする。						
授業の方法	基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気づいたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。						
学習成果	L01	自分の職業生活をイメージし、準備段階に必要な課題を見出すことができる。職務遂行の必要条件として、他者より良くコミュニケーションできる。					
	L02	社会人・職業人としてふさわしい価値観や態度を他者に示せる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	課題はクラス毎に返却する。返却時期はクラス担任から説明する。						
教科書/参考図書	『大学生のためのキャリアガイドブック』(北大路書房)。必ず購入すること。						
履修上の留意点やルール等	積極的に参加し、自己を振り返り、自分の進路に対する方針を定めること。私語をしないで、マナーを守り、課題やレポートを必ず提出すること。欠席した場合は学生支援課で講義資料を受け取ること。課題提出の〆切は全体指導あるいはクラス指導の場で示す。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。課題回収の〆切は原則次の週の水曜の18:00までとする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられることが期待される。	20	10		
レポート/作品	5点満点の課題3つ(【課題】3~5)と10点満点の課題4つを提出すること。満点=各設問に対し適切に答えている、自由記述の場合は適切な内容を解答欄に8割以上記入している。未記入や誤答は減点。0点=未提出や白紙、〆切を過ぎたら減点する。	20	35		
発表					
小テスト	漢字テスト(15点満点) ※入学前春休みの宿題から出題する。	15			
試験					
その他					
合計		55	45		

回数		授業計画
1	授業内容	オリエンテーション、学生生活と受講の心構え（キャリア教育委員長：40分）。（クラス別指導 30分）
	事前・事後学習	キャリア教育全体の要点を整理し、大学生になったの抱負を書く。
2	授業内容	感染対策から学ぶ（久保）。（クラス別指導 30分）
	事前・事後学習	感染対策（予防）の基本をもとに自分にできることをまとめて書く。
3	授業内容	学力試験（各フィールド 90分）
	事前・事後学習	春休みの宿題をはじめ、高校までの学びの復習をしておく。できなかった部分は、事後学習で補完すること。
4	授業内容	コミュニケーション能力を伸ばす（吉田）。「課題1」（クラス別指導 30分）
	事前・事後学習	【課題1】コミュニケーションに関する課題を行う。
5	授業内容	ノートの取り方・レポートの書き方（久保田）。（クラス別指導 30分）
	事前・事後学習	漢字テストを行う。
6	授業内容	業界研究（外部講師）（クラス別指導なし）（予備日・第7回）
	事前・事後学習	講演についての質問、感想をまとめ、職業に関する情報を収集する。
7	授業内容	学ぶことと働くこと・社会が求める能力「社会人基礎力」・職業に関する理解と情報の収集（キャリア教育委員長）。（クラス別指導 30分）
	事前・事後学習	「社会人基礎力」がどのくらいあるか考え、職業に関する情報を収集する。
8	授業内容	キャリアを伸ばす（キャリア教育委員長）。「課題2」（クラス別指導 30分）
	事前・事後学習	【課題2】教科書 71 から 78 頁の[1]から[21]を記入する。提出締め切り別途示す。
9	授業内容	様々な組織の理解（1）（各フィールド教員によるオムニバス）。（クラス別指導 30分）【課題3】配布。
	事前・事後学習	【課題3】組織に関する講話を聞いて、感想文を書く。
10	授業内容	様々な組織の理解（2）（各フィールド教員によるオムニバス）。（クラス別指導 30分）
	事前・事後学習	組織に関する講話の要点を整理し、【課題4】を行う。
11	授業内容	様々な組織の理解（3）（各フィールド教員によるオムニバス）。（クラス別指導 30分）
	事前・事後学習	組織に関する講話の要点を整理し、【課題5】を行う。
12	授業内容	小論文・作文対策（田村マ）。「課題6」（クラス別指導 30分）
	事前・事後学習	【課題6】小論文・作文対策に関する課題を行う。
13	授業内容	経済的自立と金銭の管理（外部講師・秋山）（クラス別指導 30分）【課題7】
	事前・事後学習	【課題7】経済的自立と金銭の管理に関する講話の感想文を書く。
14	授業内容	労働者の生活を守る法律や制度（外部講師・佐藤）。（クラス別指導なし）
	事前・事後学習	労働者に関する法律や制度についての講話の要点を整理する。
15	授業内容	キャリア・デザインの見直し（学務担当）。夢と自己実現。夏休みの宿題（キャリア教育Ⅱの【課題1】）の説明（キャリア教育委員長）。（クラス別指導 40分）
	事前・事後学習	キャリア教育Ⅱの【課題1】教科書 79 から 82 頁のキャリア・マニフェスト宣言と[22]から[30]を記入する。提出締め切り（キャリア教育Ⅱでクラス担任へ）